

① 研究課題

小児歯科健診におけるカリオスタットと齲歯の関連と介入閾値の検討

② 研究等の目的・概要

カリオスタットは日本で開発され、歯科検診において齲歯のリスク評価ツールとして利用されている。しかしながら、その縦断的研究は少なく、また評価後に保健行政として介入する閾値についても一定の基準はない。和歌山県橋本市の保健センターでは平成25年から1歳8ヶ月健診にカリオスタットを導入し、高リスクと判定した対象者について指導の介入を行ってきた。今回我々は、カリオスタットの結果と3歳6ヶ月検診の齲歯について記述研究および後方視的縦断研究を行い、リスク評価の妥当性、介入効果を確認し、介入の閾値について考察する。

③ 主任責任者

橋本市民病院 総合内科 医師 平山 陽士

④ 研究期間

2023年5月26日～2027年3月31日 まで

⑤ 研究等の対象、実施機関及び実施場所

対象:橋本市保健センターで1歳8ヶ月健診および3歳6ヶ月健診を受診したもの
研究期間:平成25年から令和4年
研究実施機関:橋本市保健センターおよび橋本市民病院

⑥ 研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報の保護について

研究対象者に対する、研究目的の介入は一切無く、保健行政としての介入のみである。
また個人情報は匿名化される。

⑦ 本研究に関するお問い合わせ先

橋本市民病院 総合内科 平山 陽士

(TEL 0736-37-1200)